

児童が学校にいるときに地震が発生した際の対応マニュアル

フローチャート編

朝霞市立朝霞第七小学校

緊急地震速報

電話 048-472-9172

地震発生

○：教師の動き ◎：保護者への連絡

○初動体制（校内放送・担任等）

- ・ 頭部保護（防災ずきん）
- ・ 机の下に避難
- ・ 負傷者の確認と処置
- ・ 二次災害の防止等

1 児童の安全確保
（第一次避難）

震度3
以下

○揺れがおさまるのを確認の上、通常通り授業を行い、その後下校

震度4以上
揺れがおさまって
校舎外への避難指示

- 安全経路の確認
- 児童への指示

2 屋外への避難
（第二次避難）

- 「おかしもち」の徹底
- 人員点呼（出席簿）担任→主任→教頭→校長
- 負傷者の搬送
- 疾病者の状態確認と119番通報

3 学校地震対策本部設置
（校長・教頭・安全主任他）

- 情報収集及び関係機関との連絡（教頭）
- 保護者等への連絡（学年主任）
- 引き渡しの決定（校長）
- 負傷者対応（養護教諭他）
- 放課後児童クラブへの連絡（教頭）

震度5弱
以上

液状化発生
どろんに保育園
第三小
第五中
児童・生徒

震度4

- 安全確認後、教室に戻し、通常通り授業を行い、下校
- ライフライン等破損がある場合
- 通学班毎に人数を確認し下校（必要に応じ職員引率）
- ※放課後児童クラブの児童は本校職員が引率
- ◎緊急連絡網で下校時刻と通学班下校を連絡
- ◎登録携帯に下校時刻と通学班下校を七小メール配信
- ◎朝霞市防災無線・スマイルFM76.7MHz・七小HP
- 保護者が帰宅できない児童は、学校で待機（事前連絡）

4 引き渡しを実施
引き取り人カードによる確認

- ◎緊急連絡網で引き取り依頼を連絡
- ◎登録携帯に引き取り依頼をメール配信
- ◎朝霞市防災無線・スマイルFM76.7MHz
- ◎七小ホームページ◎災害用伝言ダイヤル

5 児童保護の継続
引き渡し関係者（保護者親類）
が来校できない→学校で保護

- 引き渡し関係者への連絡努力
- 児童の心のケア
- 飲料水、食事、衣料、医療用品等の確保
- ※体育館：地域の方々の避難場所
- 備蓄倉庫：朝霞市職員の管理下

震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置（例：臨時休校、遅れて登校）の連絡

- ①地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合 → 帰りの会に文書で通知
- ②児童下校後に翌日の措置を決定した場合 → 緊急連絡網、七小メール配信
- ③翌日の朝、措置を決定した場合 → 午前6時30分頃までに緊急連絡網、配信
- ④電話が不通の場合 → 原則として、自宅待機し学校からの連絡を待つ
朝霞市防災無線、スマイルFM76.7MHz

児童が学校にいるときに地震が発生した際の対応マニュアル

説明編 朝霞市立朝霞第七小学校
電話 048-472-9172

震度	児童の動き	保護者への連絡
震度3以下	○揺れがおさまるのを確認の上、通常通り授業を行い、その後下校	
震度4	○揺れがおさまるのを確認の上、校庭に避難 ○安全確認後、教室に戻し、通常通り授業を行う ○ライフラインに破損がある場合 一斉下校（通学班毎に人数確認） （授業を切り上げる場合もある） 必要に応じて職員引率 ※放課後児童クラブの児童は本校職員が引率 ○保護者が帰宅できない児童は ↓ 学校で待機・保護 ※事前に家庭で決めておく	<電話、七小メール使用可能> ◎緊急連絡網で 「下校時刻と通学班下校」を連絡 ◎登録された携帯に 「下校時刻と通学班下校」を配信 ～・～・～・～・～・～ <電話、七小メール使用不可能> ◎朝霞市防災無線 ◎スマイルFM76.7MHz ～・～・～・～・～・～ ◎七小ホームページ（整備終了後配信） http://www.asakadai7shou.city-asaka.ed.jp
震度5弱以上	○揺れがおさまるのを確認の上、校庭に避難 ○保護者へ引き渡すまで学校で保護 引き取り人：保護者 親類（成人） ※引き取り人が来校できない場合 学校で児童を保護 ※放課後児童クラブの児童も 引き取り人来校まで学校で保護 ※液状化現象が発生した場合 どろんこ保育園、第三小、第五中の園児、児童、生徒が第七小に避難	<電話、七小メール使用可能> ◎緊急連絡網で 「引き取り依頼」を連絡 ◎登録された携帯に 「引き取り依頼」をメール配信 ～・～・～・～・～・～ <電話、七小メール使用不可能> ◎朝霞市防災無線 ◎スマイルFM76.7MHz ◎ホームページ（整備終了後配信） ◎災害用伝言ダイヤル（171）

震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置（例：臨時休校、遅れての登校）の連絡

- ① 地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合
→ 帰りの会において文書で通知
- ② 児童下校後に翌日の措置を決定した場合
→ 緊急連絡網、七小メール配信
- ③ 翌日の朝、措置を決定した場合
→ 午前6時30分頃までに緊急連絡網、配信
- ④ 電話が不通の場合
→ 原則として、自宅待機し学校からの連絡を待つ
朝霞市防災無線、スマイルFM76.7MHz 等での連絡

児童が学校にいないときに地震が発生した際の対応マニュアル

説明編 朝霞市立朝霞第七小学校
電話 048-472-9172

< 登校前 >

- ▷ 震度4以下の地震 安全確認後、登校させる
 - ▷ 震度5弱以上の地震 自宅待機
- 学校の安全が確認されれば、緊急連絡網、七小メール配信で「登校」の連絡
※学校からの連絡があるまで自宅待機

< 登校・下校中 >

- ▷ 揺れが小さいとき
直ちに歩くのをやめ、止まって待機 揺れがおさまってから登校・下校
- ▷ 揺れが大きかったり、長く続くとき
最寄りの屋外の避難場所に避難（通学路付近の下記の避難場所）
※ 車や建物、ブロック塀、窓ガラス、自販機など危険な場所を避ける
登校時：登校班の高学年児童は低学年児童と一緒に行動する
本校職員が避難場所に到着するまで避難場所で待つ
※ 避難場所 第七小学校、浜崎保育園、北朝霞保育園
(教員) (担外) (低学年) (中学年) } 家庭で
北朝霞公民館、朝志ヶ丘市民センター } 事前に確認
(高学年) (担外)
公園、交番、「青少年を育成する家」
- ※ 家族（成人）が在宅の場合、家族が児童を避難場所に迎えに行く
児童の安全を確認後、職員が児童を家族に引き渡す
- ※ 家族が不在の場合、児童は職員が学校まで引率し、待機、保護
保護者、家族（成人）が帰宅後、児童を学校に引き取りに行く

< 校外学習参加時 >

- ▷ 児童の安全確保 (第一次避難) ○教員の的確な指示
○負傷者の確認と処置
 - ▷ 屋外へ避難 (第二次避難) ○出口、安全経路の確認
○人員点呼
 - ▷ 現地対策本部の設置 (引率先施設) ○負傷者の状態確認と搬送
○情報収集後、学校責任者と連絡
○現地状況の伝達、帰校の判断
 - ▷ 避難所へ移動 ○引き取り依頼
・緊急連絡網
・七小メール（携帯登録者）
・朝霞市防災無線・スマイルFM
・七小ホームページ
・災害用伝言ダイヤル
- ◎ 引き渡し実施（避難所）
※ 保護者、家族不在の場合、現地で保護継続

< 休日 >

- ▷ 停電を伴うような大きな地震があった場合の避難場所について、家族で確認
(例：①北朝霞公民館 ②第七小学校)
遊び等外出中の場合は、最寄りの避難場所に避難
家族（成人）の迎えを待つ → 出かける前に避難場所の確認を

児童が登下校しているときに地震が発生した際の対応マニュアル

フローチャート編

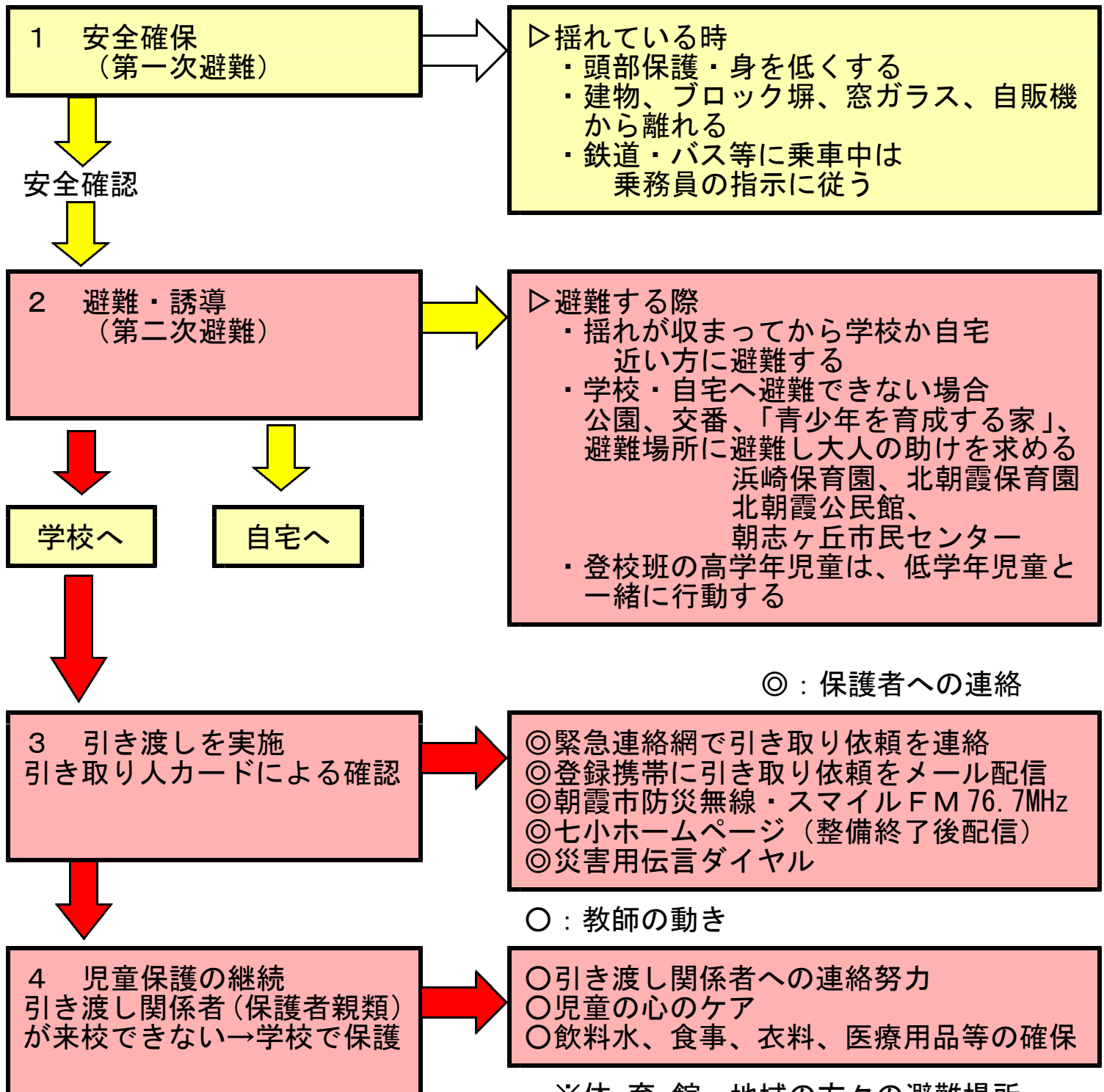
朝霞市立朝霞第七小学校

緊急地震速報

電話

048-472-9172

地震発生



※体育館：地域の方々の避難場所
備蓄倉庫：朝霞市職員の管理下

震度5弱以上の地震が発生した翌日の措置（例：臨時休校、遅れて登校）の連絡

- ①地震当日、児童下校前に翌日の措置決定の場合 → 帰りの会に文書で通知
- ②児童下校後に翌日の措置を決定した場合 → 緊急連絡網、七小メール配信
- ③翌日の朝、措置を決定した場合 → 午前6時30分頃までに緊急連絡網、配信
- ④電話が不通の場合 → 原則として、自宅待機し学校からの連絡を待つ
朝霞市防災無線、スマイルFM 76.7MHz

児童が校外学習等に参加しているときに地震が発生した際の対応マニュアル

フローチャート編

朝霞市立朝霞第七小学校

緊急地震速報

電話

048-472-9172

地震発生

○：教師の動き

◎：保護者への連絡

